



12月の園だより

令和7年12月1日
目黒区立八雲保育園 園長

～目に見えない想像の世界を楽しもう～

風に舞う色鮮やかな木々の葉が秋から冬にかけての移り変わりを気づかせてそっと立ち止まらせてくれます。
ある日園庭に出ると1歳児(高月齢児グループ)がタイヤとバスマットをたくさん並べて「お家ごっこ」をしていました。「おはよう、ご飯食べよう」「保育園にお出かけ行きます」「どこで遊ぶ?」と、まるでそこに物があるかのように5～6人の子が保育士とやりとりをしています。春の頃は友達の手で同じように遊ぶものの、思い浮かんでいることは違うことかなと感じていましたが「ご飯が来たよ、お片付けしよう」「今日はパンかな」といつもの毎日を思い浮かべて遊ぶ子どもたちからは「想像の世界」を十分に楽しんでいるように見えました。「他のクラスも見てくるね」と子どもたちに話し、数十分後にまた戻ると「昼寝中です」とまだまだ遊びが続いていたのに驚き、担任へ声をかけると「そうなんです、子どもたち大好きなんですよ」とうれしそうに返してくれてこちらまで笑顔になりました。乳児期から保育士と“〇〇のつもり”と見立てて遊んだりお話をしたりを繰り返して楽しむ中で、自分自身の想像の世界が広がる保育をこれからも大切にしていきたいと思います。

今年も園運営にご理解とご協力をありがとうございました。ご家族でゆっくりと年末年始をお過ごしください。

12月の行事予定

わくわく発表会
身体計測 避難訓練

1月の行事予定

新年おめでとう会
乳児お楽しみ会
身体計測 避難訓練

クラス懇談会のお知らせ

12月 5歳児クラス
〈令和8年〉 1月 2歳児クラス
0歳児クラス
1歳児クラス
4歳児クラス
2月 3歳児クラス

面白エピソード(0、1、2歳クラス編)

めだか組(0歳児クラス)

Aちゃんのお洋服にサクランボがプリントされていたので、保育士が「さくらんぼ、あーむ!」と食べる真似をしました。
するとAちゃんも何か食べる真似をしようとしたのですが、保育士の洋服には食べられるものがありませんでした。
迷った末にAちゃんは、保育士のほっぺたをつまんでそのままぱくっ!保育士のほっぺたがおいしそうだったのかしら…。

あひる組(1歳児クラス)

おやつに出た焼き芋の皮をむいて食べていたBちゃん。
保育士が「皮も食べられるよ」と声をかけると皮を食べだし「おいしい!」とほほに手を当てていました。
その時にミカンも出ていたのですが、ミカンの皮をむくとBちゃんは「これもたべる?」と口に入れようとして、慌てて止めた保育士なのでした。



らっこ組(2歳児クラス)

布を巻いてドレスを着ている風に遊んでいた時のことです。
C「わたし、そろそろ『しちご』なの!」
保「七五三のことかな?」
C「うん」
D「わたしも『しちご』なんだ～」
A「おまいりにいくんだよね」
B「ね～」
秋の訪れと子どもたちの成長を感じる一コマでした。



わくわく発表会に向けての取り組み

どうぞのいす ペンぎん組（3歳児クラス）



劇遊びに向けて『どうぞのいす』のコップシアターを行うと、子どもたちも自分の好きな動物を動かしながら、友達とやり取りをしてお話の世界を楽しんでいました。今度は自分たちがかわいい動物になりきります。“この動物が好き”と自分で選んだ動物。手足の動かし方、食べ物の食べ方、どれもこれも本物の動物が見えてくるようで個性がきらりと輝いています。劇遊びが進む中で小道具やお面作りも子どもたちと一緒に取り組んできました。散歩先で拾ったどんぐりに絵の具で着色をしてどんぐりマラカスも作りました。友達と一緒に歌に合わせて振り、楽しみながら表現します。元気いっぱいに歌う声もどうぞお楽しみください。

ピーマンマンとかぜひききん いるか組（4歳児クラス）



絵本「ピーマンマンとかぜひききん」を読むと、「もう一回読んで！」と何度もリクエストしたり、友達と一緒に読み合ったりしながら、子どもたちの中で大好きな絵本の一冊になっていきました。大根と人参は「おしりのほう細長いよね」と一本橋を渡るように登場したり、白菜は「大きくて重いよね」と体いっぱい使って表現したりするなど、それぞれが野菜のイメージになりきって楽しんでいます。きゅうりも「細長いから背伸びしていこう」ととても可愛い動きで登場してきます。また、ピーマンマンとかぜひききんも一人ひとりが思い描く“正義のヒーロー”と“悪者”のイメージを出し合いながら決めていったため、登場の場面は迫力満点です。最後のかぜひききんをやっつける場面では、「レインボー光線をどうやって出そうか？」とアイデアを出し合って考えましたのでお楽しみにしてください。「うたえバンバン」の曲に合わせて歌と楽器で演奏をします。お楽しみ会で保育士が楽器を演奏する様子を見て「やってみたい！」と話していた子どもたち。実際に楽器に触れ、音を鳴らしてみると嬉しそうでした。大好きな歌と憧れだった楽器を使い、友達と一緒に表現する姿をぜひご覧ください。

じごくけんぷつ しろくま組（5歳児クラス）



楽しいこと、面白いことが大好きなしろくま組の子どもたちは、紙芝居の登場人物が思いがけない方法で地獄の困難を乗り越える旅に大笑い！そんな楽しい旅を「こんな地獄もあったら面白いね」と更にみんなで想像を膨らませながら劇にしました。階段や一本道、でこぼこした地面を見つける度に「うわぁ地獄や！大丈夫やろか」と飛び越えたりそっと歩いたり…いつでもどこでも物語の世界に入り込みながら楽しむことができました。「こんな風に言いたい」と自分で台詞を考えたり「こういう動きはどう？」「みんなでこのポーズしようよ」と友達とアイデアを出し考え合いました。「今の声すごくいいね」と声を掛け合ったり「絵の具は任せて！」と一人ひとりが好きなことや得意なことで力を発揮しながら、友達と一緒に作っていく楽しさを感じています。当日は、役になりきり思いきり楽しく演じる堂々とした姿、そしてみんなの気持ちがひとつになって作り上げた『じごくけんぷつ』の世界をお楽しみください。また、歌うことが大好きなしろくま組のキラキラ輝く歌声や楽器の音色もお楽しみに！